

6/15

防災への意識を新たに

県

内各地から、消防関係者が集い、「長崎県消防団大会」が、シートとおおむらで開催されました。

この大会は、消防団員の士気の高揚と団結の強化を図る目的で開催されたもので、県内の消防団員や来賓など約650人が参加しました。

式典では、消防防災に功労のあつた機関や関係者が表彰されたほか、消防職員・団員による意見発表なども行われ、防災に対する意識を新たにしました。

第67回長崎県消防団大会



7/1

自転車の交通ルールとマナーを守ろう

自

自転車の安全利用と放置自転車を防止する条例を施行しました。

これに合わせて、条例の周知を図るため、大村警察署と共同で啓発活動を実施。自転車の交通ルールとマナーを正しく理解してもらおうと、市内の中高生らとともに、自転車利用者にチラシを配布しました。

この条例の施行は県内では初めて。大村市は、自転車事故と盗難の件数が県内最多であることから、この現状を改善するため、注意を呼びかけていきます。

「自転車条例」施行に伴う自転車安全利用キャンペーン



7/3~

貴重なご意見・ご提言をいただきました

市

民の皆さんから、直接市に対すること意見・ご提言をお聴きする、地区別ミーティングを市内8か所で開催しました。

各会場には、市長をはじめ市の理事者などが出席。市のこれから取り組む事業などを説明し、引き続き意見交換を行いました。

今年から、8地区すべてを夜間に開催。ご参加いただいた皆さんから、貴重なご意見・ご提言をいただきました。その内容や事業の説明などは「広報おおむら9月号」で詳しくお伝えします。

平成26年度 地区別ミーティング



大村湾を
活かしたまちづくり



vol.36

私は、海岸線から大村湾を一望し、波穏やかな水面にきらりと輝く太陽の光を見ていると、幸せな気持ちになります。

「琴の海」「琴湖(きんこ)」とも呼ばれていて、波音が琴の音のようだとか、江戸時代の文人が旅の中でそのさまに感動し「琴湖」と呼んだとか、実にいい響きで、風情があると思います。

大村湾には、ナマコ、シャッパ(シャコ)、飯ダコなど、季節ごとに海の幸がたくさんあり、私も大好きです。また、数は減ってきていますがスナメリも生息していて、運が良ければ出会えるかもしれません。

この豊かで美しい海を守り、未来に残していくため、昭和47年に沿岸の自治体を中心に「大村湾をきれいにする会」が設立されました。沿岸の「斉清掃」や河川の水質改善など、官民で力を合わせて取り組んでいます。

今年5月には、大村湾流域の5市5町が連携してまちづくりに取り組むため、「大村湾を活かしたまちづくりネットワーク」を設立しました。大村湾の持つポテンシャル(可能性や潜在する力)を引き出し、その魅力を活かして、観光や産業の振興など、さまざまな分野で連携し、地域の活性化を推進していきたいと考えています。

8月16日・17日には、ネットワーク設立にあわせ5市5町の首長が一堂に会する「大村湾サミット」や各種イベントを行う「大村湾フェスタ」を開催します。ぜひご参加ください。このような取り組みをきっかけに、行政だけでなく市民レベルの交流がさらに活発になり、私たちの宝である大村湾を子、孫の代へと引き継いでまいります。